

道徳の勉強会報告 1

2014.6.9

小牧市立小牧中学校長 玉置崇先生を招いて学んだこと

1. 道徳授業の大原則

「A B C Dの原則」・・・当たり前のことを (A)
馬鹿にしないで (B)
ちゃんとやれる人が (C)
出来る人 (D)

※めざす子ども像としてとらえることができます。

※ 小牧中学校の生徒は、話をする人の顔をしっかりと見ることが出来ます。

2. ゲスト道徳の大切さ

道徳は、本物に触れさせることが大切です。道徳の授業でゲストを呼んで、教師とのT Tをすると効果は大きい。

※道徳は、担任だけで行うものではない。本物に触れさせよう！

3. 読み物教材で注目するところ



※行動に注目するとよい。主人公の行動が変わった時に、何か心が変わったはずだ。

4. 私が道徳授業で心がけていること

- ・読み物資料を各自で読ませない。印刷もしない。

→先生が読むだけでよい。国語ではないので状況把握が出来ればよい。大事なところは、状況説明をしながら想像力を喚起する。

- ・主人公の行動が変わったところを焦点化する。

→行動に注目して、心が変わったところを焦点化する。

- ・全員を巻き込む授業技術。

→教師の笑顔、授業のリズム、意図的指名、関わり合いの作り出し（指名したときに言えなければ、別の人にその子の言いたいことを言わせる）

- ・余分なことは言わない。

→教師は自信がないと不安になるとしゃべりすぎる。道徳は想像することが大切であ

る。余分なことは言わずに子どもに考えさせよう！

※今すぐ授業に役立てられます。

5. 授業の技術あれこれ

① 子どもの意見を聞く方法

全員を立たせて、意見を言っていく。同じ意見だと座っていく。全員が座ったところで終了。

② Oつけ法

子どもの書いた意見に対して、丸をつけながら机間指導する。一人一人プラスの声かけを忘れない。

③ いやみ

授業中にいやみを言うのも授業を活性化させる手法？先生の個性によります。

④ 今までにない意見が出たとき

この意見に賛成か反対かを聞く。授業によっては深く追究することもあるが、そうでないときもある。肝心なのは無視されたとおぼせないことである。受け止めたと思ってもらえることが大切である。

⑤ さまざまなしかけ

課題の提示の仕方ひとつとっても、穴埋め形式にして（ ）に入る言葉を考えさせることができる。いろいろ考えて子どもに注目させる方法を考えよう！



これが学習会の概要です。つたないまとめ方なので、十分とは言えませんが、これを一つの視点として授業改善に努めていきたいと思えます。